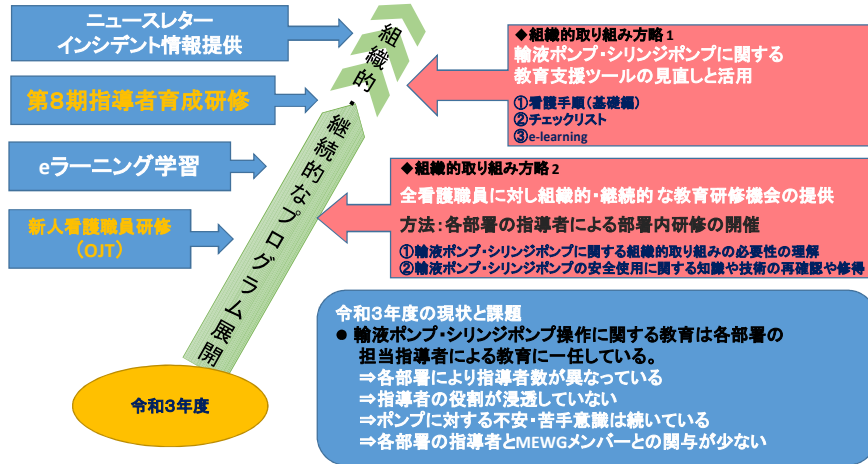


ゴール・ビジョン

輸液ポンプ・シリンジポンプを安全かつ正確に操作できる人材の育成

- 原則として看護職員全員が、
- ・ 当院における輸液ポンプ・シリンジポンプのインシデントの特徴が説明できる
 - ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する注意点が説明できる。特に過量投与に至る原因について理解している
 - ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用に対する苦手意識・不安が軽減する
 - ・ 看護職員の知識・技術の質を維持する



令和3年度の具体的活動内容

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

- 1) 新人看護職員研修(OJT)支援
- 2) 第8期指導者育成研修の企画・運営
- 3) 知識確認テストの実施(100点取得)

2. 部署への支援

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動

- 1) インシデントのデータ収集分析
- 2) 広報誌「MEWGニュースレター」の作成

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

1) 新人看護職員研修(OJT)支援

- 集合研修ではなく、部署で実施している。
- 部署の輸液・シリンジポンプ指導者が部署の特徴を踏まえ、部署内研修計画を立案し、実施した。
- WGメンバーは部署サポート担当を決め、支援体制を整えた。
- 輸液・シリンジポンプ指導者は研修を実施することで自己の知識の再確認の機会となっていた。



指導者部署内研修計画書

令和3年度 部署内研修計画

*フォーマットをメールで送付します。
*令和3年度研修日() 研修日() メールアドレス()

部署[] 氏名[]

研修目的		
研修目標		
研修日程 (曜日と時間)	研修場所	
対象者と指導者	例: 新卒(対象者全員)のみ、新卒(対象者全員)+演習(3人1グループ)など	
研修形式		
使用物品		
タイムスケジュールと研修で学習する内容		
目標達成に際する評価の方法		
その他		

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

2) 第8期指導者育成研修

令和4年2月10日に「第8期輸液・シリンジポンプ指導者育成研修」を企画していた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、研修は次年度に延期となった。

【研修予定内容】

講義: ①指導者の役割

②輸液・シリンジポンプの安全な取り扱い

③輸液・シリンジポンプに関連したインシデント

演習: 輸液・シリンジポンプの正しい使い方と指導方法

2. 部署への支援

■部署サポート担当のWGメンバーが、担当部署を決めて活動を行った。

■教育WG担当者に部署サポート担当者を紹介し、支援体制を整えた。

■今年度は、サポート依頼はなかったが、各部署の指導者の活動状況については部署内研修実施報告書等で把握した。

■指導者の活動評価より、次年度のサポート体制を検討している。

1. 輸液・シリンジポンプの教育研修の企画・実施・評価

3) 知識確認テストの実施

■輸液・シリンジポンプに関する正確な知識の補填を目的にeラーニングを活用した学習支援を行った。

■令和3年11月に知識確認テスト(25問)を100点取得まで実施した。

■今年度は対象部署の看護師長を含めた。

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動

1) インシデントデータ集計分析

■輸液・シリンジポンプ使用下で行った内容を抽出している。

■インシデント内容や原因を分析することによって、ポンプ操作の注意点だけでなく操作以外で起こりやすい状況等を把握し、指導者への情報提供、ニュースレターでの注意喚起等を行っている。

3. 輸液・シリンジポンプ操作の理解を深めるための啓発活動 2) 広報誌「MEWGニュースレター」作成

- 輸液・シリンジポンプに関する知識の向上・管理方法の習得や、輸液・シリンジポンプに関するインシデントの注意喚起を目的に看護部ニュースレターの発行を行っている。
- 今年度は、インシデントにつながる事例の注意喚起、MEWGの活動紹介を掲載した。



まとめ

- 毎年、研修内容を検討し、指導者研修、更新研修、フォローアップ研修を計画・運営している。
- 部署サポートとして各部署との密な情報共有方法の構築を行い、指導者が困ったときにいつでも相談できるようサポート体制を強化していく。
- 次年度は動画教材の見直しや更新者用確認テストの作成などをすすめていく予定である。
- 今後も、輸液ポンプ・シリンジポンプ使用上の安全管理に看護職員全体で取り組めるよう努め、活動していく。